

科目名	幼児と表現（造形表現）				担当者名	水野 道子	
	幼2種・保育士（必修）						
ナンバリング		授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・③
授業内容	①造形技法、道具、素材を知り実際に使いこなすことができるようにする。②園生活の年間行事や子どもの発達に応じた保育計画案の作成により実践の基礎力を身につける。						
到達目標	①造形技法、道具、素材を使って、教材の工夫や用具を使いこなせるようになる。②造形表現活動の保育指導計画を立てることができるようになる。						
授業計画	回	内 容					
	1	幼児の遊びや生活における領域「造形表現」の位置づけについて					
	2	幼児の造形表現を生成する過程について					
	3	造形表現の知識と技能について（1）画材の知識					
	4	造形表現の知識と技能について（2）色彩の知識					
	5	造形表現の知識と技能について（3）造形の技法					
	6	造形表現の知識と技能について（4）造形のための援助方法					
	7	造形表現の知識と技能について（5）制作の技法					
	8	造形表現の知識と技能を活かした幼児の表現活動の展開について					
成績評価方法と基準	評価方法	評 価 基 準			割合		
	授業平常点	授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する			20%		
	レポート	課題の主旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか			30%		
	課題提出	製作課題の主旨を理解し、工夫し提出できたか			50%		
					%		
教科書	「保育をひらく造形表現」槇英子 萌文書林、「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館、「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館						
参考図書	必要に応じその都度、提示する。						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと。						
課題等に対するフィードバック方法	課題に対して返却時における講評、解説を行う。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	講義・演習科目は1～4時間、実技・演習科目は1～2時間を推奨します。						
その他 留意事項	必要に応じ周知する。						
実務経験と資格等	小学校、中学校・高等学校（美術）教員免許を所持し教員実務経験をもつ。						